

草原の つながり

人と自然が織りなす歴史遺産



原作：歌川広重「甲斐大月の原」

2022 筑波大学山岳科学センター シンポジウム

プログラム 参加申込

<https://msc.tsukuba.ac.jp/news/20220225/>



[日時] **3/27 (日)** 13:00
~17:30

オンライン開催 ONLINE EVENT

〈主催〉筑波大学山岳科学センター 〈共催〉長野県環境保全研究所

〈協力〉菅平高原観光協会、峰の原高原観光協会、菅平旅客索道協会、菅平牧場、仁礼会、根子岳・四阿山保全協議会、やまほうし自然学校、上小森林認証協議会、勉強会ゼロ、上田ロータリークラブ、筑波大学山岳科学学位プログラム、日本長期生態学研究ネットワーク、全国草原再生ネットワーク、日本茅葺き文化協会、日本生態学会

〈後援〉上田市、須坂市、環境省 信越自然環境事務所

つな な か り

2022 筑波大学山岳科学センター

草原の ポジウム

人と自然が織りなす歴史遺産

草原は、人と自然のつながりによって歴史的に維持されてきた自然であり、豊かな生態系が形成されています。

そうしたつながりから、私たちの社会や文化に様々な恵みがもたらされています。

この100年間で草原の利用が大きく減少し、草原生態系が危機に瀕しています。

草原の生態系のつながり、生き物のつながり、私たちとのつながりなど、

「草原のつながり」についていろいろな角度から光をあてることで、

私たちの暮らしがどのように草原とつながっているかを探ります。



講演 / 講演・質疑 13:00~17:30

[プログラム]	13:00-13:10 挨拶	14:50-15:20 4「スキー場を核としたグリーンシーズンツーリズムの展開」呉羽 正昭
	13:10-13:40 1「草原の日本文化」須賀 丈	15:20-15:50 5「地域再生が叫ばれる時代に、草原再生を進める意味と方法」白川 勝信
	13:40-14:10 2「阿蘇草原の水利用：草原の維持は水源涵養に役立つのか？」宮沢 良行	15:50-16:20 6「草原とともに消えゆく莫大で未知な遺伝資源」田中 健太
	14:10-14:40 3「茅場草原の利用と茅葺き文化の継承」松澤 朋典	16:20-16:35 休憩
	14:40-14:50 休憩	16:35-17:30 質疑応答 ※オンラインで集めた質問を司会が選んで紹介

1 「草原の日本文化」

須賀 丈 (長野県環境保全研究所)

草原を維持する火入れは縄文時代に始まり、万葉集には野の花や騎乗しての狩の場面が詠われ、浮世絵にも草山の花が描かれました。こうした草原の急速に減っている背景に資源利用のグローバル化があります。一共著に『草地と日本人』



4 「スキー場を核とした グリーンシーズンツーリズムの展開」

呉羽 正昭 (筑波大学山岳科学センター)

ヨーロッパアルプスと比べて日本のスキー場は、冬以外にはツーリズムにあまり活用されてきませんでした。実態例を紹介しながら、スキー場内の「草原」を活用したツーリズムや、スキーリゾートから山岳リゾートへの転換の可能性について考えます。



2 「阿蘇草原の水利用：草原の維持は 水源涵養に役立つのか？」

宮沢 良行 (九州大学)

広大なカルデラを覆ってきた阿蘇の草原は戦後急速に姿を消してきました。その中で注目されているのが、草原の持つ水源涵養の機能。阿蘇の草原再生が本当に水源涵養に貢献しているのか、最新の成果を紹介します。



5 「地域再生が叫ばれる時代に、 草原再生を進める意味と方法」

白川 勝信 (芸北 高原の自然館)

「火入れ」「採草」「野草地への放牧」という、人の営みが失われたことで消えゆく草原。広島県芸北地域で、過疎化や高齢化などの社会課題の中、もう一度「草」の居場所を作る草原再生に取り組んでいます。そこから生まれる新たな価値について考えます。



3 「茅場草原の利用と 茅葺き文化の継承」

松澤 朋典 (小谷屋根)

茅葺きは家ごとにやり方が違い、見て盗み、1を聞いて10を知ることで受け継がれてきました。良質の茅を生む、長い年月をかけて野焼きしてきた茅場草原はどんどん減っています。一豪雪地域の信州小谷で越後高田流を受け継ぐ(株)小谷屋根の三代目茅葺師



6 「草原とともに消えゆく 莫大で未知な遺伝資源」

田中 健太 (筑波大学山岳科学センター)

歴史の長い草原は希少な動植物のホットスポット。独特な微生物の世界も形作られています。草原まるごとの微生物が将来生み出す新薬の価値を測ると、莫大な金額でした。そんなかけがえのない遺伝資源が、未知・未利用のまま消失しています。



■ 申込方法

こちらのホームページより、申し込みフォームに電子メール等を入力してお申し込みください。



<https://msc.tsukuba.ac.jp/news20220225/>

参加費
無料

[日時] 3/27 (日) 13:00 ~17:30

オンライン開催 ONLINE EVENT

お問い合わせ / 筑波大学生命環境エリア支援室 ✉ msc-jimu@msc.tsukuba.ac.jp TEL. 029-853-4561